

坂の上の雲
ミュージアム

第12回企画展テーマ展示

明治青年 秋山真之

2/27(火)
スタート

坂の上の雲ミュージアムでは、毎年テーマを新たに企画展を開催しています。2月27日からは、明治150年、秋山真之生誕150年を記念して、小説『坂の上の雲』の主人公のひとり、秋山真之にスポットをあてた企画展を開催します。初公開の貴重な資料もありますので、ぜひご来館ください。

日時 2月27日(火)～平成31年2月17日(日)▶開館時間＝9時～18時30分
(入館は18時まで)▶休館日＝月曜日(休日の場合は開館)
料金 一般＝400円、高齢者(65歳以上)・高校生＝200円、中学生以下無料

主な展示資料



真之の旅行用トランク



欧州視察中の広瀬武夫の絵葉書
《広瀬神社所蔵》



真之の眼鏡入れ



東郷平八郎書「智謀如湧」



企画展開催に先立ち、内覧会を開催します

日時 2月26日(月)10～12時(入館は11時30分まで)
料金 無料
※学芸員によるギャラリートーク参加希望者は10時までに来館してください

「明治青年 秋山真之」

「智謀湧くが如し」と称された日本海軍の知将・秋山真之は、1868(慶応4/明治元)年、伊予松山に生まれました。明治19年、真之は海軍兵学校に入学、軍人としての道を歩みはじめます。その後、米英留学を経験し、日露戦争では連合艦隊作戦参謀に起用されるなど、日本海軍で重要な役割を任せられました。今回の展示では、小説『坂の上の雲』に描かれた真之の人生を、海軍や家族に関わる資料をもとに紹介します。

坂の上の雲ミュージアム臨時休館

企画展開催準備のため、2月19日(月)～26日(月)は、休館します。



※一般用の駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください

その他の坂の上の雲ミュージアムでの催し(無料)

3.11 あの日を語り継ぐ 2018

日時 3月1日(木)～16日(金)
9時～18時30分(入館は18時まで)
内容 新聞『三陸新報』に掲載された、気仙沼市や南三陸町の人々が体験した震災とその後についてまとめた記事「あの日を語り継ぐ」と、いまの気仙沼の様子を伝える記事を展示

定例イベント

■お伽座の語り
日時 3月3日(土)14時～14時30分
内容 伊予弁による昔話、民話、伝説

■土曜コンサート
日時 3月10日(土)、17日(土)14時～14時30分
内容 『坂の上の雲』や松山などをテーマにした、さまざまなジャンルの演奏



土曜コンサートの様子